

暑い夏に負けない 熱いイベント！

～2004年のほりべつ豊水まつり
・2004わくわく広場のほりべつ～

7月17日(土)・18日(日)の2日間、市民まつり『2004年のほりべつ豊水まつり』（同まつり実行委員会主催）がらえば公園などで行われました。初日の『豊水トントン』では市民団体など18チーム約600人が参加。沿道の観客から踊り手たちに大きな声援が送られていました。2日目は『はだかみこし』が威勢良く練り歩き、西胆振の9チームが参加した『よさこいソーランin登別』では勇壮な踊りが、市民の目を釘付けにしました。

また、7月31日(土)と8月1日(日)には、登別マリンパークニクス前庭で登別地区のマチおこしイベント『2004わくわく広場のほりべつ～アート1丁目～』（同実行委員会主催）が開かれました。会場中央のアートステージでは和太鼓やパントマイムマジック、ジャグリング、フラメンコなど多彩なパフォーマンスが次々と披露され、詰め掛けた大勢の市民を魅了しました。今年新登場の市民アートでは、20グループがオブジェや絵画といった芸術作品を出品。このほか、てっぽう汁の千人鍋や豪華賞品が当たるビンゴ、花の寄せ植えコンテストなど、楽しい企画が盛りだくさんで、親子連れやカップルらを楽しませていました。



▲豊水トントン（豊水まつり）



▲パントマイムマジック（わくわく広場）

カムイヌプリからの眺めは最高！ ～ジュニアチャレンジキャンプ～



▲カムイヌプリの頂上に立った子どもたち

8月4日(木)から6日(金)までの3日間、ふおれすと鉱山主催の『ジュニアチャレンジキャンプ』が行われ、市内の小学4年生から6年生までの15人が参加しました。

この催しは、自然体験を通して、子どもたちに楽しい夏の思い出をつくってもらおうと毎年開かれているもので、今年カムイヌプリの標高にちなみ『コーザン750キャンプ』と題して、カムイヌプリの頂上を目指す登山が行われました。

炎天下、元気に胆振幌別川河口を出発した子どもたちは、3時間ほどで宿泊場所のカムイヒュッテ（山小屋）に到着しました。翌日は、早朝から頂上を目指して歩き始め、全員が登頂に成功。頂上から見る景色に歓声をあげていました。

国立公園関係都市が抱える 共通問題の解決のために

～国立公園関係都市協議会定期総会～

8月5日(木)、登別温泉町の旅館で国立公園関係都市協議会の定期総会が開かれました。

同協議会は、施設整備の推進や自然環境の保全など、国立公園に関係する都市の共通問題の解決や情報交換などを目的としており、国立公園を抱える102都市が加盟しています。

登別市では初めての開催となる今回は、全国から市長11人が参加して行われ、本年度の運営方針や収支予算の承認後、自然再生事業や国立・国定公園整備事業などに係る自然公園等事業費や、国立公園などの管理のグレードアップと自然環境保全活動の推進を図るための予算の確保などを盛り込んだ『国立公園の整備促進等に関する要望案』が採択されました。

また、役員補充では、上野市長が同協議会の副会長に選出されました。

